

太平洋空軍音楽隊—アジア モンゴルの学生と共演 PACAF-Asia Band takes the stage with Mongolian students

May 15, 2024

By Airman 1st Class Jarrett Smith
374th Airlift Wing Public Affairs

モンゴル・エルデネト発—米国太平洋空軍音楽隊—アジアが4月25日、モンゴルのエルデネトに新たにオープンしたアメリカン・コーナーで、学生たちと音楽と文化の交流を図り、相互理解を深めた。

モンゴル初のアメリカン・コーナーの20周年と、エルデネトに新設されたアメリカン・コーナーのオープンを祝うため、モンゴルとアメリカのミュージシャンが集まった。アメリカン・コーナーは、アメリカとモンゴルの教育と文化交流を促進するためのコミュニティーセンターである。

(写真1)4月25日、モンゴル・エルデネトのアメリカン・コーナーで、学生たちに演奏を披露する(左から)米国空軍太平洋音楽隊—アジア ギタリストのクリストファー・アレラノ上級空兵、ボーカリストのアシュリー・フセビー上級空兵、トロンボーン奏者ベン・フセビー技能軍曹。



1

(写真2)馬頭琴を演奏するエルデネトのアメリカン・コーナーの学生たち。馬頭琴は、円形のサウンドボックスとラクダの頭の形をした棹を持つ、ゴビ砂漠で広く普及しているモンゴルの伝統的な撥弦楽器。



2

(写真3)モンゴル・エルデネトのアメリカン・コーナーで、学生たちに演奏を披露する米国空軍太平洋音楽隊—アジア。

米国空軍太平洋音楽隊—アジアは、日本の横田基地に拠点を置き、米インド太平洋軍管轄地域内の各地をまわり、音楽を通して親善を深めるため、戦時平時を問わずプロの音楽家としての演奏活動を行っている。



3